

指導者たちを思い起こす

2025年7月27日

ヘブル人への手紙 13章7節
使徒の働き 20章17～38節

序：キリスト者のきよい生活（聖霊のお働き）：実践の具体例

- (1)兄弟愛：旅人をもてなす
牢につながれている人々を思いやる
虐げられている人々を思いやる
- (2)結婚を貴ぶ：性的罪（姦淫、淫行）から遠ざかる
：人間の創造と同時に神が制定されたから（一夫一婦）
- (3)金銭への過度の依存、食欲に陥って身を滅ぼさないように
- ★(4)信仰の模範：読者たちを信仰の初期の段階で指導した人たち
生と死において倣う

I. 指導者たち

- (1)読者たちが信仰者としてスタートする初期の頃に、神のことばを話した
今はその使命を果たし終えている（召天 or 存命）
- (2)現に活動中の人々ではない？ 11章に名を連ねている昔の信仰の先達ではない
- (3)読者の属している教会を開拓、設立し、聖徒たちをみことばによって養い育てた
身近な存在 影響力は大きい
- (4)彼らは生き方、生活において模範であっただけでなく、死においても信仰を持ち
復活の希望を抱いて主のみもとに召された

ダビデ・マーチン宣教師&牧師の召天に際していただいたお便りの中にこのヘブル
13章7節が何人ものの方々によって、引用され、書き記されていた

II. ラルフ&ステラ・カックス宣教師ご夫妻

高松クリスチャンセンターの英会話クラス（エリザベス・ジョンソン先生）
カックス師によるバイブルクラス
2年半の反抗的な求道者に一貫して語られたのは神のことば
ジョンソン氏の証し 映画「偉大な生涯の物語」＋それまでの蓄積 ⇒ 回心
1973年12月

バプテスマ（洗礼）式 1974年 復活節
渡米（15州） 1974年5月～1975年3月
帰国・岡山クリスチャンセンター 3年間
池戸キリスト教会開拓を手伝う 3年間
東京基督神学校 3年間
池戸キリスト教会にて伝道牧会 7年9ヶ月

事を始め、成し遂げられるのは神 信者は賜物を与えられ用いられる
聖書は聖書によって解釈する（聖書の著者である御霊の助け、導き）
受けるよりも与える方が幸い
食事（もてなし、交わり）を大切に（ステラ師はクッキングクラス、
レディース・ランチョン開催）

多くの場所に集会、山陽地方、九州にも伝道拡大
祈りなくして、神の御業は成就しない
ヴィジョンと情熱、具体的な計画、行動力 祈って、働く

- Ⅲ. 東京基督神学校 (東京都国立市) ⇒ 現在 東京基督教大学 (千葉県印西市)
当時の教師陣は卒業証書に署名の先生方
日本人の牧師、教師による初めての指導 (小畑進牧師)
念願の世界キリスト教会史を学ぶ機会を得た (丸山忠孝校長)
日本のキリスト教会のこと (遣わされるのは日本の教会) エゼキエル 3・4～11

献身者は、働きのため備えられ整えられる必要 (召命、知識、人格、対応力)
神のしもべ、隣人に仕える姿勢、実践 (先生方、神学生間)
熱意だけでなく知識・常識も重要 (伝道・牧会の現場)
卒業後にも続く交流・交わり (櫻井圀郎先生は同級生)

- Ⅳ. ダビデ・マーチン宣教師・牧師 (鯖江での働き)
1993年1月 結婚 4月から開拓伝道開始 (シーダースプリングス長老教会
金沢中央教会協力宣教師)
2009年2月 召天までの16年間 夫であり指導者

朝5時～ デボーション (一日2章以上、暗唱、祈り)
朝食後 家庭礼拝 (祈り：教会、家族親族友人知人)
午前中 学び、説教準備、手紙、電話
午後 トラクト配布 (鯖江5周、周辺市町村2周)、来客、集会
特別集会や行事

招かれて超教派の集会、諸教会の伝道集会、教団の修養会、キャンプなどで奉仕

いつでも、どこでも、だれにでも努めて福音を伝える (トラクト渡す)
簡略でストレートなメッセージ
個人伝道
牧会 (相談、見舞い)
人の名前を記憶する (若い頃は天才的) 書く、祈る

V. まとめ

- (1) 神とみことばと教会に仕えるために召された務めを完うするのは、容易ではない
御霊とみことばの確証なしには不可能である
- (2) 務めの光栄と自分の非力を徹底的に知らされ、神に祈り委ね、賜物を用いて前進
するところに、神が業をなしてくださる
- (3) 指導者は受けるよりも与えることを優先する (時間、労力)
- (4) よい協力者、理解者、同労者が必要 (特に配偶者)
ひとりではできないことが多い
- (5) 信仰によって生き抜いたことは、死に際しても明らかになる
- (6) 福音をまっすぐに語る、神から与えられる愛、知恵、力によって主と隣人に仕え
る
- (7) なるべく多くの人との間に平和を保つようにするが、妥協してはならない点にお
いては、明確なことばと態度をとる勇気をもつ
- (8) 指導者はみな善人とは限らない。また、完全な指導者もいない。見習えない場合
は、反面教師として、「ああいうふうになってはいけない」と捉えて、逆を真と
する。欠点、長所ともに公平に見られるように、自分の考えを絶対化しない。
- (9) その場かぎりや申し訳程度の奉仕、神よりも人を恐れたり、その評価に左右され
ず、ぶれず、一貫した歩みを目指そう